

都数研会報

東京都高等学校数学教育研究会
 事務局 都立江戸川高等学校内
 事務局長 藤 田 泉
 発行所 都立拝島高等学校内
 編集発行人 水 本 香
 都数研Web <http://tosuiken.jp/>

平成 30 年度総会

平成 30 年度総会が、平成 30 年 5 月 19 日(土)13:30 から、都立武蔵高等学校にて行われた。

会長のあいさつに始まり、議事の流れは下記の通りであった。

- 1 平成 29 年度事業報告
- 2 平成 29 年度決算および監査報告
- 3 平成 30 年度 役員選出(顧問参与の承認を含む)
- 4 平成 30 年度 会長あいさつ
- 5 平成 30 年度事業計画
- 6 平成 30 年度予算
- 7 平成 30 年度役員・理事
- 8 東京都高等学校数学教育研究会規約について

議事は全て承認された。主な役員は以下のとおりである。

会 長 萩原 聡(西高・校長)
 副 会 長 加藤 竜吾(武蔵村山高・校長)
 北原都美子(啓明学園・学園長)
 事務局 長 藤田 泉(江戸川高・校長)
 事務局次長 石崎 規生(九段中等・校長)
 宇佐美俊哉(保谷高)

研究部長 白田三知永(小松川高・校長)
 研究副部長 幸田 諭昭(立川国際中等・校長)

定通部長 奥村 英夫(荻窪高・校長)

編集部長 水本 香(拝島高・校長)
 編集副部長 奥村 英夫(荻窪高・校長)
 白鳥 靖(多摩科学技術高・校長)
 中川 徹(府中高・校長)
 大島和華子(若葉総合高・副校長)

監 査 高橋 豊(武蔵高兼附属中・校長)
 梅原 章司(小石川中等・校長)
 原田 能成(雪谷高・校長)

(次頁に続く)

会長挨拶

会長 萩原 聡(西高・校長)



この5月の総会で、東京都高等学校数学教育研究会(以下、都数研)の会長としてその任を負うこととなりました。東京都立西高等学校長 萩原 聡です。今後も東京都の高等学校の数学教育に貢献できるよう微力ながらも努力致しますのでよろしくお願い致します。

さて、今年度の大きな取組みとしては、8月に開催される日本数学教育学会主催の第100回全国算数・数学教育研究(東京)大会があります。先生方の協力なくして本大会は成り立ちません。都数研としても、都算研、都中研と連携し、取り組みますので、よろしくお願い致します。また、今年度も東京都教育委員会の研究推進団体及び、東京都教職員研修センターの研究普及団体として指定を受け、年間3回の授業研究・講演会などの他「科学の祭典(科学の甲子園東京都大会)」の運営補助など、様々な機会を通じて東京都と連携、協力して数学教育の発展に寄与していきます。

さらに、3月末に学習指導要領が公示され、「理数探求基礎」「理数探求」のほか、「数学C」が新設され、新しい時代に対応すべく「統計教育」が強化され、授業において数学的活動の充実

を図る観点から、「課題学習」が従前の「数学I」「数学A」から「数学II」「数学III」に拡充し、「主体的・対話的で深い学び」を重視した問題解決的な学習の一層の充実が強調されています。

都数研では、最近では若手教員や中学校、特別支援学校、大学など異校種の教師や民間企業の方など多様な経歴の会員の方により、学習指導法、大学入試、数学I、定通、ICT(今年度から「コンピュータ分科会」が名称変更)の5つの分科会による月1回程度の研究協議会において、教材、指導法、評価法など実践を通じた幅広い議論が行われており、新学習指導要領への対応なども協議していきます。また、編集部においては、その成果を年3回「会報」として発行し、また2月末に「研究集録」としてまとめるとともに、各分科会では、報告書あるいはHPなどで研究成果を共有し、日本数学教育学会の全国大会や関東甲信静大会、東京都の研究発表会などを通して発表しています。

都数研の活動では、自由な雰囲気の中で、何でも語り合える場として、分科会や全体会での研究協議後に行われる懇親会も大切にしています。そこでの情報交換は、会員同士の親睦を深め、様々な教育活動の助けとなっています。

このように、都数研は、高等学校の数学教育の実践を通して楽しく、深く学ぶ研究会です。新学習指導要領が発表され、数学教育も新たな視点で取り組まなければならないこの時期に、一緒に学んでみませんか。多くの皆さまの参加をお待ちしています。